

2025 IGF NRIs 第3回会合報告

日時：2025年3月25日（火）21:00 - 22:02(日本時間)

形式：オンライン会議

進行：Anja Gengo（国連IGF事務局）

参加者数：62名

日本からの参加者：加藤、河内、山崎

1. 議題

- 1. 歓迎と紹介
 - 2. インターネットガバナンスフォーラム(IGF) 2025におけるNRIsセッション
 - a. 3つのNRIs協働(Collaborative)セッション：重点レビュー
 - b. NRIsメインセッション：政策に重点
 - c. NRIs調整(Coordination)セッション：テーマに重点
 - 3. 総括
-

2. セッションテーマの決定

2.1 NRIメインセッション（75-90分、国連公用語への通訳あり）

- **確定テーマ**：「インターネットガバナンスにおけるマルチステークホルダー・アプローチの強化」
- **補足説明**：
 - 昨年と類似テーマであるが、今回は**より政策的な観点での具体的な改善点の提示**を目指す

- 以下の国際的枠組みと連携しつつ議論を展開することとした：
 - WSIS+20
 - Global Digital Compact (GDC)
 - 2030 アジェンダ (SDGs)
 - NETmundial (サンパウロマルチステークホルダー原則)

- **主な論点と提案：**

- 国連の文脈におけるマルチステークホルダーモデルの機能について振り返り、その強化策を模索する。
- インターネットガバナンスにおけるマルチステークホルダーモデルの役割について、課題と機会を含めて検討する。
- マルチステークホルダーアプローチを支える包括性、開放性、透明性といった主要原則を強調することにより、マルチステークホルダーモデルの中核的価値を再確認する。
- マルチステークホルダーモデルをグローバルな枠組みの中で位置づけるため、NRI からの証拠に基づく貢献を基に、NetMundial+10 サンパウロマルチステークホルダーガイドライン¹の WSIS+20 レビュープロセスにおける関連性と適用可能性を探求する。
- WSIS+20 プロセスを通じて推進できる、グローバルなデジタル協力の改善につながる具体的な変化を特定する。
- 政策に焦点を当てた、証拠に基づく対話を通じて、NRI が世界のインターネットガバナンスの生態系とマルチステークホルダーモデルに与える影響を説明する。
- インターネットプロトコルのアップグレードがマルチステークホルダーモデルとガバナンス構造に与える影響について議論することを検討する。
- マルチステークホルダープロセスへの政府の積極的な参加の重要性を強調し、政策立案者および立法者をより効果的に関与させる方法を模索する。
- マルチステークホルダーモデルに関する単一の統一見解をこの形式でまとめることは困難であることが認識された。その代わりに、参加者は、グローバルなデジタルガバナンスに対する多様な理解と改善策を反映し、それぞれのコミュニティから政策に焦点を当てた証拠に基づく見解を共有すべきであることが改めて指摘された。

¹ <https://netmundial.br/pdf/NETmundial10-MultistakeholderStatement-2024.pdf> 日本語訳は <https://netmundial.br/pdf/NETmundial10--2024-Japanese.pdf>

- このトピックに関連する活動を実施した NRI は、その成果、アウトプット、得られた教訓を共有することで、セッションの準備を支援することが推奨される。文書によるインプットの形での貢献は、NRI のメーリングリストを通じて提出すべきである。

2.2 NRI 協働(Collaborative)セッション (各 60 分)

以下の 3 テーマに決定：

セッション	テーマ
セッション 1	地域接続とコミュニティベースのネットワークによる手頃な価格での普遍的アクセスの実現
セッション 2	データガバナンス：個人および組織のデータの透明性、保護、責任ある活用
セッション 3	サイバーセキュリティ脅威の管理

※「子どものオンライン安全」は十分な支持が得られなかったため除外

3. 作業体制と今後の進行

NRI メインセッションと NRI 調整(Coordination)セッションの準備は、通常の月例 NRI 会合と NRI のメーリングリストを通じて進められることで合意された。これに対し、3つの NRI 協働(Collaborative)セッションは、関心のある NRI グループがオープンで透明性の高い協議プロセスに従って、専用のメーリングリストを通じて計画・開催される。

すべてのセッションで共同作業文書が作成され、セッション提案の共同起草が促進される。

- **メインセッション：**

- NRIs 定例会合（月 1 回）で継続的に計画
- 次回会合（4 月下旬）までに**政策質問リスト案**を事務局が作成・共有予定
- その後、**登壇者選定・フォーマット設計**へ移行

- **協働セッション：**
 - IGF 事務局が各テーマごとに**専用メーリングリストと作業グループ**を立ち上げ
 - **3月28日までに作業グループを編成**
 - **4月11日までにドラフト提案を提出**
 - **4月12日までに提案を Web 掲載**
 - **提案の最終承認：4月30日**
 - 6月のIGF本会合に向けた最終準備（～6月1日）
-

4. WSIS+20 に向けた NRIs の政策提言文書

- **草案作成者：**Tijani Ben Jemaa（北アフリカ IGF）
 - **目的：**NRIs の立場から WSIS+20 レビューに対し政策的提言を提示
 - **進捗状況：**
 - 初稿は数名の NRIs 代表がレビュー済み
 - **3月下旬に全 NRIs へ共有予定（3/26 済）**
 - **4月5日午後5時（タイムゾーン不明、おそらく UTC）までに NRI からのコメント提出を要請**
 - **今後10日以内にコメント提出を目指す**
 - **活用予定の場：**
 - 第28回 CSTD 会合（4月7～11日）へのインスピレーション提供
 - 貢献する草案を期限内に作成することは現実的ではない可能性があることも留意
 - WSIS フォーラム（7月）での発表
 - IGF 本会合（6月）での参考文書
 - 12月の国連ハイレベルイベントに向けた準備
-

5. その他の確認事項

- 各 NRI が**自国でのセッションや議論内容を報告**し、それを基に全体の議論に厚みを加えることを推奨
 - 政策議論に実効性をもたせるため、**議員・政府関係者の積極的な関与**を促進
 - **多様な立場からの意見を尊重しつつ、文書の整合性と簡潔さを保つ工夫**が必要
-

6. 次回会合とアクションポイント

- **次回会合**：4月下旬予定（会合後、日程調整の結果、4/28月に決定）
- **事務局アクション**：
 - 議論のまとめと政策質問リストのドラフト作成
 - 協働セッション用のメーリングリスト招待(その後 3/26 に共有された)と作業グループの立ち上げ
 - WSIS+20 提言文書の共有(その後 3/26 に共有された)とフィードバック収集